



おにぎり通信

2012年7月7日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座・日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

7月7日は、七夕です。七夕の風習は日本、韓国、中国、台湾、ベトナムなどにあります。

私達は七夕というと、願い事を書いた短冊を笹につけることを真っ先にイメージしますが、これは日本独自のものです。

もともと、7月7日には織女に手芸上達を願う、乞巧奠（きこうでん）という祭りがありました。この祭りは、中国で唐の時代によく行われており、日本にも伝わりました。平安時代には、貴族が七夕の時にカシの葉に願いごとを書いていました。

さらに時代が下り、江戸時代になると、この風習は大衆化して、一般庶民も手習いごとの上達を願って、七夕に願掛けをするようになりました。これが現在の、短冊に願い事を書いて笹に結びつける習慣につながっています。

☆6月25日 福祉行動報告 1名参加されました。

Aさん（50代）

肌荒れで、病院へ行きました。



次回の福祉行動：7月9日（月）

朝8時30分までに東京駅丸の内北口の地下・喫煙所脇の車輪のところに集合です。

病気やケガの治療を希望される方や、体を休めたい方と一緒に福祉事務所まで、ボランティアが同行いたします。福祉行動は原則として毎週月曜日に行います。福祉行動は参加されるそれぞれの方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることにより成り立ちます。

もより ふくしじむしよ
最寄の福祉事務所

ちゅうおうくふくしじむしよ ちゅうおうくつきじ ちゅうおうくやくしよ かい
中央区福祉事務所…中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

ちよだくふくしじむしよ ちよだくくたんみなみ かい
千代田区福祉事務所…千代田区九段南1-2-1 3階

<コラムもどき 生活保護と最低賃金>

さいきん せいかつ ほ ご じゆきゆうしや かどうそう じりつしえんさく せいかつ ほ ご じゆきゆうしや はたら さい
最近、生活保護受給者とりわけ稼働層の自立支援策として、生活保護受給者が働く際
の給与は最低賃金の適用除外にしてはどうか、という意見があります。

りゆう せいかつ ほ ご じゆきゆうしや しゅうろう じぎょうしや せいかつ ほ ご じゆきゆうしや こよう
その理由は、生活保護受給者が就労するために、事業者が生活保護受給者を雇用しや
すくするためなのだそうですが…。もし、この案が現実になるならば、新手の「貧困ビジネス」
が出てくることは間違いありません。

なぜなら、同じ内容で働いてもらうなら、働かせる側(事業者)としては、少しでも安い
賃金で働いてもらう方が得だからです。例えば、1時間雇って800円の労働者(生活保護
以外の人)と、同じく 1時間雇って600円の労働者(この場合は生活保護受給者)がいたら、
後者を雇いたいのが事業者の本音でしょう。そうすると、1時間800円の労働者は雇われ
なくなります。1時間600円の労働者も、生活保護を受給しているから600円で雇えるの
であって、そこから自立すれば、1時間で 800円を払わなければいけません。そうなったら、
生活保護から自立してもらうより、生活保護を受けながら安い賃金で働いてもらう方が、
事業者にとってはありがたいのです。

けっきよく はなし ひろ ひとびと しょく うば ぎやく せいかつ ほ ご じゆきゆうしや じりつ とお
結局、この話は広く人々から職を奪うばかりか、逆に生活保護受給者の自立を遠ざけて
しまう危険性が多々あります。いわば、官製「貧困ビジネス」になりかねません。

せいかつ ほ ご もんだい じつ ろうどうもんだい き き はな
生活保護の問題は、実はワーキングプアをはじめとした労働問題と切っても切り離せない
ことを考えさせられます。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せずに、ゴミ箱に
入れるなど片付けにご協力をお願いいたします。

おにぎりはかならずその日のうちにお召し上がり下さい。

受け取るのは、ひとり1個でお願いいたします。(多くの方に召しあがっ
ていただくためです。)

よつや なかま れんらくさき いわた
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先:090-4959-0652(岩田)